

1. 件名：「大飯発電所原子炉施設保安規定変更認可申請（3号炉の高経年化技術評価等）に関する事業者ヒアリング（2）」

2. 日時：令和3年1月7日（木） 13時30分～14時45分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（※一部TV会議システムによる出席）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部審査グループ 実用炉審査部門

塚部管理官補佐、宮本安全審査専門職、櫻井安全審査官

長官官房技術基盤グループ

システム安全部門

池田技術研究調査官、北條技術研究調査官

地震・津波研究部門

日高主任技術研究調査官、鈴木技術参与

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力発電部門 保全計画グループ マネジャー 他15名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・大飯発電所原子炉施設保安規定変更認可申請書審査資料【大飯発電所3号炉 高経年化技術評価（30年目）】
- ・大飯3号炉 高経年化技術評価書（配管サポート耐震安全性評価）の記載について
- ・大飯3号炉 保安規定審査（PLM）コメント反映整理表

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	原子力規制庁の宮本です。ではこれから大飯発電所 3 号炉の保険会議消火 30 年目に係る保安規定変更認可申請のヒアリング対 2 回目を開始いたします。では、関西電力の方から今日の配付資料と
0:00:22	あと説明のほうもあわせてお願いいたします。
0:00:26	はい。
0:00:27	関西電力原子力事業本部のハニューです。
0:00:32	それでは今から資料の確認といった御説明をさせていただきます。
0:00:37	本日途方回復している資料なんですけれども、3 種類ございます。資料①遠い発電所原子炉施設保安規定変更認可申請書の審査資料となります。資料の前にとしまして、大飯 3 号炉の高経年化技術評価配管サポート耐震安全性評価の記載について、
0:00:57	あと資料の③としまして、大飯 3 号炉保安規程審査PLMのコメント反映整理表となっております。
0:01:08	それでは
0:01:11	昨年 12 月 15 日に実施しましたヒアリングでいただきましたコメントに対する回答を今実施していきます。
0:01:22	関西電力原子力事業本部の内山です。そうしましたら見解いただきましたコメントを回答を踏まえまして当大飯 3 号炉の高経年化技術評価 30 名へのパイオについてご説明させていただきます。
0:01:37	当コメントにつきましては、お手元にあると思うんですけど、③番のコメントを上げているように、S&I1 からNo.10 単位で 13 件ございます。そのうちのNo.13 については、この概要資料ではなくて、
0:01:54	上流文書から保安規定の記載内容に関するものになりますので、まずは対予沖にかけて評価の概要をパワーポイント形式になっている場合用のコメントとして、No.1 からNo.12、こちらについては、
0:02:10	今回の資料に沿って説明になっていただきます。当庫が資料につきましては、資料①の通しページ 5 ページになります。資料配布訪日というパワーポイント形式の資料になりますが、よろしいでしょうか。
0:02:27	としましたらまず資料の資料の振り込みなんですけども、前回ヒアリングのときから資料の変更している場所を別途見やすくするために赤字で識別しております。ただ地内どこと新規にですね
0:02:44	それから建物弁交換しているものを行ったものにつきましては、赤字にするのではなくて、スライドことを、赤枠の点線があった点では試みております。楽しいとこの丸ごと追加等でこうやっているということに

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:59	そうしましたら、2 ページのほうも、
0:03:03	ええとまず目次ですねと今回全廃なかったんですけども、目次のスライドでやっぱいたしました。
0:03:09	項目が追加変更されてるものにつきましては、その該当するスライドにてセットのAということの理由と内容について説明させていただきます。
0:03:19	ヤマシタ 2 ページ目をお願いします。
0:03:23	2 ページ目、こちらはコメントNo.2 のプラントの場合をプラントの培養説明の資料を追加しなさいということとコメントNo.3 で、これまで実施した大規模改造工事の査定一覧資料参考とさせていただけるというコメントがございまして、その反映をしまして、
0:03:43	こちらの 2 のほうに大飯 3 号炉の培養とこで自主的というのを新たに追加いたしました 3 ページの
0:03:53	こちらから 3 号炉のAの概要のスライドになります。主要中央主要な仕様及び主な経緯はご覧の行為になっておりまして、運転実績としては 2020 年 3 月時点マツエーnet平均設備利用率は 66.4%。
0:04:11	計画外停止から二階とっております。
0:04:14	4 ページ目を延ばしても、
0:04:18	こちらが運転開始以降に実施した主な声で綺麗になります。
0:04:23	これも今回追加し、原子炉容器を上蓋用の管台の応力腐食割れ発生の対策として判断 400 材料を対応力壊れてる行動パッカー690 系ニッケル基合金対立た。
0:04:38	原子炉容器上蓋への取替を実施したり、次の予熱力を冷却系出口配管とパイプラインの合流部の高サイクル疲労割れの予防保全措置で温度を開く予定できる暴力形状に変更するとともに、応力振幅という
0:04:56	合計 3 ケースを変更することにしたり、こういったことのほか、ご覧のような改善を実施しております。
0:05:05	特に 5 ページ目を願います。
0:05:09	5 ページ目につきましては前ページの整理したやつを別途プラント火曜日に落とすと、こんなもの、同じものになりますので、拡散国保ほどページ目をお願いします。
0:05:22	こちらはコメントのNo.8 と 11 の反映で②番、高経年化技術評価体制③番、高経年化技術評価の実施工程④番、運転経験及び新知見の反映点の神経といたしました。
0:05:38	追加した内容についてその当該のスライドで説明を聞きましたら、7 ページ。
0:05:47	こちら 7 ページ目、こちらコメントNo.12 なんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:53	経年化対策実施ガイドの場所で
0:05:57	預金押し管理方針を今日来て管理方針とそれでした、修正の様の注釈でつけていたんですけどもこの点を削除するというコメントがございましたので、それを反映しまして、この赤字の部分ですね、押しをして三つに
0:06:14	はい。説明して
0:06:18	休憩を確認をいたしますと、こういう道路網が 8 ページランチの
0:06:25	こちらが、
0:06:26	コメントNo.8 の実施体制について概要資料をべし体制について概要資料に追記することということの反映でこのプライドを新規に追加しますか。
0:06:37	こういう 3 号炉の高経年化技術評価で伝えてって、原子力事業本部、原子力発電護岸統括を統括的に着手はして、原子力事業本部と大飯発電所の組織で評価の実施に係る役割役割を設定しております、
0:06:54	評価全体の取りまとめを答弁書との連携の窓口コンクリート構造物以外の評価、これらを事業本部、保全計画が実施、
0:07:04	オキタでコンクリート構造物の評価を両方とも現地プロジェクトでグループ分けしてしております。
0:07:11	そしてあの発電所についてはポリマー止めるってを発電量保全計画等が実施することをちょっと
0:07:18	次、9 ページ目をお願いします。
0:07:22	はい。
0:07:23	このプライドは前のページのほうに再掲追加したのとセットで実施工程も今回もりました遠い 3 号機の PAM 申請期限を見て 20 年の 12 月では何っていう 7 日までの徹底のために、
0:07:38	2018 年同額でピンクで CP 計画及び実施定量合併決まって技術評価を開設し、このような工程を経てお店 20 年 12 月に決めて行いました。
0:07:53	1 ページ目をお願いいたします。
0:07:57	こちらはコメントNo.11 機と高圧スプレイ保育読み切れグループ章の評価は、先ほどの進捗等も反映しなさいということのもはや踏まえまして、今回この隠蔽経験新知見の反映のスライド新切り絵となっております。
0:08:15	大飯 3 号機の hpm 評価上国あたりをこれまで実施して区画への先行プラントの高経年化技術評価を考課者参考にするのとともに、
0:08:26	2020 年 5 月までを大飯 3 号機のⅧ貸借期間として、国内外の運転経験、最新知見として高経年化への影響検討して反映要否を判断しています。またその超過退職大綱の運転経験及び最新知見としても適宜反映していくと。
0:08:45	あいうえお兵庫県のチェックを行っております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:48	えっと国内外のうんて見学最新知見は得てご覧の情報を最初にして収集しており、
0:08:55	結構としまして、高経年化技術評価に新たに反映した主な運転経験、最新知見は一つフランスのベルギーにご意へ提言をこのサーマルスリーブの摩耗という運転経験と、あと、
0:09:11	期限として最初に健康NRA技術報告想定事象鯖江コンクリート強度及び提供と、この2件となりました。
0:09:20	このこれここにですねNo.11のコメントを反映しまして、一番下にありますがけども、2020年9月に確認された大飯3号炉パックで配管業における有意な値については、現在原因究明とであることから、
0:09:37	進捗状況を踏まえて、総計年額効果の補正を店頭駆動旨を追記いたしました。
0:09:43	Paと書いてなるスライドちょっと目が、13ページ目をお願いします。
0:09:49	はい。
0:09:50	はい。
0:09:52	こちら13ページ目、こちらはコメントNo.1のフローの救急の表現行為という前までもこれは一番上の段にひし形三つあるクラタの真ん中で高温高圧の環境下にあるかということにあります注記※2、
0:10:11	の通期のこと言ってるんですけども、この中期の赤字のところ重要度クラス担任位というのが、この投薬以下セキされていた明記されていなかったの、当行くということの
0:10:25	ビューロクラタの値というの
0:10:29	ヨシノ整理をいたしましたってもらいました。
0:10:32	ウエイト14ページ目をお願いします。
0:10:36	はい。
0:10:37	14ページ目このスライドはTb本ターボポンプを例にしてトピックをグループ化した上での代表を選定した結果、選定した結果をそうですけども、前回のヒアリング資料と同じものなんですけども、前回このパワーポイント資料だと。
0:10:55	右のほうの代表機器の選定の欄に、この二重丸がついてるんですけども、こちらは二重丸を打たれたオキタのポンプに該当するのが少し見えにくいというお話もありましたので、5第100期の選定の案に横に点線を入れさせてもらっております。
0:11:11	それとですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:13	弁閉のヒアリングの資料と今回の開きヒアリングように、12月23日前方法ってもらってる資料としまして、皆さんに配付された紙資料なんですけれども、このスライドの重要度値段と。
0:11:29	冷温停止状態で見たとような機器の欄は、青と黄色でマークされたような状態になっていくと、こちらのほうでは見えないということになっているということで大変スプレイいただきました。こちら重要度の欄にはMaプラントとか、
0:11:46	統合重要度や、入用重大事故等対処設備の違いという意味でいうといったもので、そういったものが書かれており、あと冷温停止に必要な機器の欄にはPARを倍とする機器に丸が沖に分かれておりまして、それぞれの重要度が高いものとPAR冷温停止維持に必要な丸が増えているところ。
0:12:05	いうものを強調するために、半透明の色つきのハッチングただけなんですけれども、
0:12:12	結局ゆで、ちょっとPDFファイルの電子ファイルではバッティングしたのもちやんと見えるんですけれども、印刷すると無理がうまくされて見えなくなってしまう状態になっていることが起こりました。それですので、ぱくにペーストしました公開の資料では、
0:12:30	この半透明のハッチングをはぐっていますので、当該箇所に書かれた文字の売り場印象としても見えるようになっております。
0:12:38	大変失礼いたしました。15ページ目をお願いいたします。
0:12:45	このスライドはコメントNo.9で経年劣化事象について、THAI消毒事象に限定していないことを目指すということで反映しました。
0:12:56	F6事象以外の経年劣化出ても含めて評価していることがわかるように、日本原子力学会標準等経年／改革で仕切るの附属書に基づいて経年劣化メカニズムまとめ表担保に経年劣化事象と部位の組み合わせだということに加えて、
0:13:15	赤字のところになりますけども、6事象についての文書については高経年化対策上着目すべき経年劣化事象を設定するとともに、その他の定例会仕上げていっても劣化傾向の観点では、県や、現状の保全活動を踏まえて、
0:13:32	ここね経年会長も含めて行い、技術評価を実施した。
0:13:36	あと、耐震パイプのキャンペーンで評価に対しては、最も別件メリットとしてではない一定量劣化管理事象含めて、構造強度等への影響が有意な経年の特徴を改めて、地域評価を行ったという2点を追記いたしました。
0:13:53	また右、右下並みに繋がるんだけど、ベネに6事象以外の高経年化対策上た区分けべき経年劣化事象とペネトレのコンクリート厚米国原子炉格納容器のテンドンの緊張力計画の発注されたということを追記いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:12	次 16 ページ目をお願いします。
0:14:16	はい。
0:14:17	こちらの前のページで
0:14:20	コンクリート構造物のPCCVの限度の建築計画というものが 6 事象以外の高経年化対策上着目すべき経年劣化事象として明記したことを踏まえまして、⑦番として、コンクリート構造物で修文の辺どんな検討っていうの区域いたしました。
0:14:41	このことを、このペーパーブロック⑥と⑦につきましては前回の資料ではコンクリート構造物として独法にひとくりにまとめていたものをぽんぽん原発低レベルサポーになっても、
0:14:54	次の変更点なりを飛ばしまして 18 ページ目。
0:15:02	18 ページ目、こちら統計的と例えばこのいけるけども、ここはコメントNo.6 の
0:15:10	というページでしょうツカベ高経年化されていると車両に乗るコーナー部矢野泥が入っているかないか明記されていることの反映しまして、冒頭に赤で残るけれども、栃銀領域に含まれるファンは、
0:15:25	国道の母材ある溶接部は販売
0:15:29	運転開始後 60 年時点における協定と調整のがタービンビルの 17 条ルート何%ポンプを超える範囲のグループコーナー部等の経営構造不連続生まれないのという旨を追記いたしました。
0:15:45	名それとここコメントNo.7 でいただきました関連温度の表の書式が異なっているというコメントいただきましたので、ご指摘の反映で関連温度とこの程度の表の赤字の部分っていうのはこちらをポンと修正してたと統一を図りました。
0:16:07	※21 ページをお願いします。
0:16:12	はい。
0:16:13	はい。
0:16:15	こちらはですねコメントいただきたいんですけども、当経年化への対応の赤字の部分ですけども。
0:16:23	ここの記載の適正化を図りまして、東北のちょっと受けまして、赤字分高経年化への観点からというのを続けさせてもらって、
0:16:33	上の変更点など約 26 ページまでをお願いします。
0:16:42	こちらはスライドの 16 で、先ほど孤独でしょう以外の高経年化対策上着目すべき経年課長として、コンクリート構造物PCCVのエンドウの研究計画というのと分けて別個に設定いたしましたので、
0:16:58	今後プライドのタイトルを変更で、⑦番の目標も、
0:17:04	27 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:07	きっと。
0:17:08	こちら 27 ページ、コメントNo.9 の経年劣化事象について、対象 6 事象に限定しないことのメリットという反映でスライド 16 に、特に小委員会も含めた高経年化対策上着目すべき経年劣化したことに伴いまして、
0:17:26	故障だという構成変更しまして、前回の資料では、経年劣化事象とこのプライドねらった日評価等、ここに一つのスライドにも国として列挙してたんですけども、経年劣化事象のShort
0:17:41	耐震強化タイプ波原案評価というぐらいに分けて項目分けてねということとしております。
0:17:48	オキタ 28 ページの話も、
0:17:53	28 ページ目、こちらはコメントNo.4 の
0:17:57	耐震安全性評価の評価結果が記載されていないので、
0:18:02	記載を適正化することというこの反映でも項目として、耐震安全性評価と追加保全策に分けて評価結果としては、耐震安全性評価を実施した結果、いずれも問題ないことを確認したこと。
0:18:18	あと補填追加保全策として、現状保全項目に高経年化対策のポンポンとラップアップでもらわないことを追記しております。
0:18:28	またですねこの概要の説明の表、これにつきましては原価ヒアリングの際に、弊社のほうからも代表としても少し適切な例の期待に変更した旨をお伝えしておりますけれども、ちょっとコメントNo.5 として、
0:18:44	耐震評価の概要の一定の表について、聞こえてる懸念を記載する劣化事象 9 産廃であると系列とこ 4 名のコメントいただきましたので、これも踏まえまして、健全性評価の冒頭に、
0:18:59	報告義務評価で想定される経年劣化事象のうち、現在発表していると、または将来にわたって起こることが否定できないんでしょうかと、振動応答特性上または構造強度上軽微もしくは無視できない事象を抽出して、
0:19:15	保守的に経年劣化で商工ペイした上で、運転開始後 60 年版の報告書案として、耐震安全性評価を実施したね。
0:19:24	あとこっちへとですね、あと以下に例示する。耐震安全性評価の培養以外にも腐食や抗体この辺機能などのうち、うち、耐震安全性評価を実施している旨を記載しました。あとそれとともに表には、ごく微少にパンクするものと、
0:19:43	その他経年劣化事象のうちの主な例として見込まも流れ形職を来ということは区分に再整理しました。
0:19:53	また記載した事例は、これは例示だということがわかるように、表に 0 ということも、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:01	次に 19 ページ目をお願いいたします。
0:20:07	こちらの繋がりにつきましても評価例を流れ加速型腐食であるということには明記するとともに、前のページと同様に耐震安全性評価をいかにどのこの決定評価結果と、それとほぼ全国の明記サポート点つきました。
0:20:24	またNo.コメントNo.10 ので。
0:20:28	もう配管減肉のばい菌最近評価によって評価区間を記載することとこう言ったことを反映しまして、健全性評価の中期の欄のところというところに、評価期間を運転開始後 60 年を通して上でのコメント、現場の管理レベル 1、
0:20:47	原告状態を評価条件として肯定しているという旨をセキ。
0:20:52	1 ページ飛んで 3 弁 1 ページをお願いします。
0:20:57	はい。
0:21:01	こちらはトレンコ 31 ページ冷温停止に厳しくなど経年劣化評価報告前項のヒアリングの際の質疑の中で、口径の対策上着目すべき経年劣化事象ではない事象の事象として、
0:21:16	断続運転時よりも冷温停止維持のほうが厳しくなる特定事象もありますけれども、これらの事象については、冷温停止においても、
0:21:27	冷温停止時においても着目すべき事象にはならないため、大豊工業するものではないと、そういうことを確認しているということを御説明させていただいたことを踏まえまして、ポンプライナー躯体を少し充実をもっと上げのところになりますけれども具体的には、
0:21:43	断続運転を前提とした場合に想定される後継の方のスズキ経年劣化の中ではないんでしようで提案ページは開閉所前提とした場合において保護系のバタ国道一定年齢たりするとなるでしようがないことを確認するというステップと、
0:22:00	断続運転を前提とした場合に想定される経年化対策上着目すべき経年劣化事象で安定状態のイメージを前提とした場合にあって進展がより厳しくなる経年劣化を抽出し、冷温停止を踏まえた再評価を実施して、
0:22:17	店舗今度上で、抽出された項目べき経年劣化事象 1 件の再評価をしたりするという内容にしました、結論としまして、連携機能対応ビデオで前提とした。
0:22:32	議運評価の結果は現状保全項目に高経年化ということもコントラストいただく役務の話というふうになっております。
0:22:41	報告書骨子を 35 ページをお願いします。
0:22:47	はい。
0:22:50	クラレと今後の取り組みです。これは自主的に今回ですね今後の取り組みのスライドを追加させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:57	今回でした高経年化技術評価は現在の最新知見に基づいてしたのですが、ここに示すような運転経験や最新知見等を踏まえて適切な時期に高経年化評価として再評価及び遠方に位置していくの。
0:23:13	また、高経年化対策に関することを通じて、今後とも原子力プラントの安全安定運転努め安全性信頼性のなお一層の行動に取り組んでいくこととあります。
0:23:27	運用で今回の大飯 3 号機の PL 場合のメンバーからの変更点。
0:23:34	ここはその説明を終わりますのナンバー 13 については後程御説明を含めて、
0:23:41	以上になります。
0:23:43	はい。
0:23:44	質問、
0:23:47	先ほどちょっと分けましてナンバー 13 が、
0:23:52	これ、
0:23:53	質問
0:24:00	簡単でいいので、No.13。
0:24:03	あわせて触れてざっくり総務書けますか。
0:24:09	関西電力原子力事業本部のハニユウです。
0:24:12	それではコメントの No.13 について御説明させていただきます。
0:24:18	ナンバー 13 につきましては、本規程の審査資料になります。上流文書設置変更許可から保安規定の記載内容に対するへとコメントを受けております。
0:24:29	同じく、資料①の却 74 ページをご覧ください。
0:24:42	はい。
0:24:43	はい。
0:24:44	はい。
0:24:45	はい。
0:24:49	お願いします。
0:24:51	はい。いただいたコメントですけれども、設置変更許可申請書の 11 ポツ 7 の記載ですけれども、保安規定の内容が技術評価及び長期施設管理方針に整合しているかどうか衛星にすること。もう一つは、ほかに。
0:25:06	直接的に関連できる箇所があれば記載を適正化することというふうな点をコメントいただいております。
0:25:13	ここなんですけれども、
0:25:16	長期管理方針は、現状の保守管理の妥当性も確認しておりまして、経年劣化に関する技術的な評価の結果、安全余裕が十分に見込めない等が確認され

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	た場合には、現状の保守管理を強化すると、対策を実施することとしております。
0:25:33	今回の結果につきましては、現状の保守管理では問題ないと評価結果を出しているために、施設管理方針と個数が無関係に見えてしまうかもしれないんですけども、その手術管理方針と保守は両方とも密接な関係がありますので、
0:25:51	現状の記載で問題ないのではないかと考えているところです。
0:25:56	また、設置変更許可等再度確認したんですけども、直接的に関連できるできると記載はありませんでした。したがって、ちょっと現状の記載のままの出頭しようとしてございます。以上です。
0:26:11	はい。
0:26:13	ミヤモトです。
0:26:14	ありがとうございます。
0:26:16	それでは今日いろいろと前回のヒアリング、
0:26:19	さっきの破線で困っていただいた部分ですとか結構修正入ってますので、そういうちょっと確認。
0:26:29	ください。
0:26:36	3 ページ目。
0:26:39	それから
0:26:40	プラントの概要ですけど、あと改善したまま工事とかいろいろ書いていただいていますので、
0:26:51	確かに
0:26:53	設計書ミヤモトですけども、
0:26:57	高経年化評価の代表ということであればそれで十分なのかなと思うんですが、一方で、
0:27:04	これが防波堤の現況申請の一つだということを第 5 章、シーム変更申請経営の中であるということと言いたかったという今ひとつ見えているのかなっていうところも気がしまして、
0:27:19	通しページの 3 ページのところに、やはりこうあって、今回アンテナからこういうことで変更しようとして成立はその中で
0:27:29	保険明確化させたり箇所近接区間方針策定するんですよっていうことが、
0:27:34	今の最後のほうで現場でもどこまで明確に聞いているのかなとちょっとそこは気になりましたのでもうちょっと書きぶりの問題なのかもしれませんが、
0:27:48	スライド 7 ページ目のところで少し出ているのかもしれませんが、ちょっと%も意識していただく方がいいのかなと感じたところです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:58	ちょっと感想めいたところなので、もう
0:28:04	何かナカノ法でやって私の感想説明いただくアクションプランであれば、その辺ちょっとお任せしたいなと思っております。1点です。
0:28:14	。
0:28:15	関西電力原子力事業本部のハニュウです。
0:28:19	今いただいたコメントとしましては、資料の右肩資料1と書いている
0:28:26	概要説明している資料の中にと保安規定の変更認可申請であるということが読めるような修正を検討するというふうにと受けとめましたね。これ確かにいただいた通り、今この書きぶりでは、保安規定の申請というふうなところが
0:28:45	保安規定の審査というところがちょっと読み、読みにくいというふうな資料になっていると思いますので、当タイトルの変更ですとか、今現状、資料①の資料の通しページの3ページまでですけども、
0:29:04	こちらにはヘッドホン地形の変更の内容を記載してございますので、このような内容をパワーポイントの概要資料の中に入れ込むような形で資料を修正したいと考えてございます。
0:29:20	規制庁ミヤモト以上です。はい。
0:29:23	オペレーター技術強化を図り審査会合っていうところもありますので、あそこは高経年化技術評価等が妥当スズキが出てきて、それを踏まえた長期施設管理をしていいというところが
0:29:39	前面に出ていただく必要があると思いますが、ただ一方でその保安系の変更。
0:29:44	難しいという中なんですよってことがちょっとその辺がスズキとして、きちっとどっかではっきりなければいいのかなっていうふうにと考えてますので、また新規性基準審査会合た違うんですよっていうところは意識していたら言った上でちょっと御検討いただければお受けております。
0:30:03	はい。
0:30:05	関西電力原子力事業本部とハニュウです。承知いたしました。
0:30:10	規制庁の山本でちょっと私のほうから、
0:30:15	いろいろと質問をさせていただければと。
0:30:19	思いますが、
0:30:22	追加していただいている9ページ目のところをスライドスライドできるですね。
0:30:30	はい。
0:30:31	確認なんですけれども、
0:30:37	原子力発電安全。
0:30:39	委員会。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:41	次のは
0:30:43	実施計画の手順書の作成とかそういうなんていいですか
0:30:48	顧客北九州評価の
0:30:50	スタートとなるようなところっていうんですかね、そういったところはあまり拘らず最後の結果、後期PLMの評価結果
0:31:00	上記サツカワの方針に沿って、そこも訪問し、もう審議をするのが中心だというような位置付けになっているという理解でよろしいですか。
0:31:11	関西電力原子力事業部のウチヤマです。おっしゃる通りでございます、発電低減原子力発電安全委員会っていうのは社内規定のほうで今期点も含めて許認可案件等の出すものについて審議をするというところの情報に関わって出してるものです。
0:31:31	手順書等の制定につきまして予定をしてあげと社内的にa分決定文書で設定して実施しているということになっております。
0:31:43	ました。
0:31:44	です。
0:31:48	例えば細かい議論になったので、その辺をちょっと後でもいいのかなというふうに思ってちょっとまだ続きがあるところで質問させていただきます。
0:31:59	あと、実は11ページのところで、運転経験と最新知見の反映と入れていただいています、例えばこれ補足説明資料とかのほうで、
0:32:12	運転経緯経験、
0:32:15	に関しては例えば調査期間で何件ぐらいあって、経年劣化に起因したのは何件ぐらいあってっていうような、それを踏まえて、
0:32:26	高経年化のPMIに新たに反映させるようなものは0件だったみたいなそういう金数的な情報。
0:32:31	最新の知見もそうなんですけども、何件抽出したかってそういう件数のような情報と入っているんでしょうか。
0:32:45	関西電力原子力事業本部、内山でございます。最新知見のほうにつきましては、はい別途共通部分の補足説明の審議の中で御説明をさせていただきたいと思っております。
0:33:00	補足そちらの方にも件数等、具体的には当職じゃないんですけど、13ページのところにネット件数とかいっておりますが、こちらにつきましてちょっと国外の情報追記とかですね、少しもう少し充実させてもらいたいところございまして、その説明の中でまた
0:33:20	件数、たりとか追記して御説明させてもらいたいと思っております。わかりました。わかりました、ありがとうございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:30	計画に合わせて、
0:33:31	100万本もちっページのところ、なお書きのところ、
0:33:38	加圧器スプレイ配管の溶接部のところについて書いていただいでるんですけども、
0:33:45	それはここ経年化技術評価
0:33:48	加速期間の
0:33:53	あ、すみません、ちょっとすみません、
0:33:57	はい。
0:33:58	はい、今の
0:34:01	はい。
0:34:03	ちょっと聞かせください。ごめんなさい。エンドウ。
0:34:06	押すページ 70%ミツイ%スライドナンバーばこの事業のほうは、
0:34:11	マスキングのところはわかりましたので、今回資料のほうではきちっとカミデフリーターとしてもマスキングなしのような形になってないっていうことはちょっとワタナベもちゃんと確認したいと思います。
0:34:25	スライドの 15 ページのところ、
0:34:31	資料 6 事象以外ということで、
0:34:35	プレストレストコンクリート製の
0:34:38	どう。
0:34:39	Cvのテンドンの緊張力の低下っていうのが出てきてますけども、さっきちょっとPRAを教えていただきたいところなんです、
0:34:47	関電さんのPRAプラントですか或いはこれまでの日本の我が国の保健活動課で、
0:34:59	PCCVの円筒の筋力計画。
0:35:02	ていうのを、
0:35:05	保険が対策上着目すべき劣化事象っていう形で抽出しまして、
0:35:11	言ってみればあるんでしょかっていうのをちょっと教えていただければと思います。
0:35:18	はい、関西電力原子力原子力事業本部の北川と申します。今PCCVの店頭緊張力については、当社としては、今回大飯 3 号機で初めて高経年化技術評価マナーのいう事象として、評価してるんですが、先行の他社比
0:35:38	絵としては、日本原電さんの敦賀 2 号機。
0:35:42	#NAME?
0:36:00	規制庁ミヤモトですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:04	皆さんの中では、今回大飯 3 号炉では初めて今抽出されたってということだったんですけども。
0:36:11	当役にはこれまで抽出して、
0:36:15	なかったって言い方なんですかね、抽出されなかった。
0:36:21	理由というのは何かあるんでしょうか。
0:36:23	こういうし、
0:36:26	CVじゃなかったってことなんでしょうか。
0:36:30	関西電力、原子力事業本部の北川です。ご指摘の通りこれまでの当社の審査対象プラントはPCCVっていうのはありませんで今回の大飯の 3 号機のPCVで初めてPCはできたと。
0:36:49	いう形になってございます。以上です。
0:37:03	規制庁ミヤモトです。江藤。
0:37:08	ちょっと細かいところなんですけれども、スライドに
0:37:10	日本列島、
0:37:14	17 から順番にまずという
0:37:20	事象ごとに
0:37:22	いろいろ評価し、その結果よう書いてありまして、
0:37:25	一番最後のそれぞれのページの一番最後は高経年化への対応という言い方をしているんですが、
0:37:34	耐震設計のところ、
0:37:37	29、30 は追加保全策っていう言い方をしていますけども、これは何かあいて書き分け工程面会の対応っていうのと追加保全策っていうのも入って来書き分けてる理由ってのがあってあるんでしょうか。
0:38:10	はい。
0:38:14	はい。
0:38:16	。
0:38:17	関西電力原子力事業本部、内山です。こちらの作っつきまして
0:38:24	はい。
0:38:25	補足 5-1。
0:38:27	こういうふうにしなければならないと決めているものではなくて従前からですねそのようにさせていただいていて我々としては手順書のほうに前の先行プラントからずっとですね、この書き方をさせてするように手順を定めて
0:38:45	そこでさせていただいております炉心公務
0:38:49	ずっと同じような形になっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:51	緊対所私の質問の趣旨がちょっとうまく伝わって接種トリップ議会が伝わってなかったのかもしれませんが、
0:38:58	高経年化への対応っていう
0:39:02	ふうに例えば 23 ページとか、
0:39:07	21 ページとかいろいろ書いていただいている。
0:39:10	うん。なかなか現状保全項目に高経年化対策の観点から追加すべきものはない。
0:39:16	という言い方をしていますので、
0:39:19	同じようなものも、
0:39:21	世界の 2930 で出てきて、ただ、タイトルは、
0:39:26	追加保全策っていう言い方をしてるということでやったかもぱっと統一してもいい、いいのかなてちょっと思っただけなんですけども。
0:39:38	ちょっとそういう質問です。
0:39:43	評価書との整合性確保しなきゃいけないとかっていうのであれば、わかりましたということになって、
0:40:24	はい。
0:40:35	申し訳ございません韓国関西電力の原子力事業本部のイワサキでございます。今いただいたコメントなんですけれども、いただいたコメントですけれどもちょっと考えさせていただきますけれども、
0:40:51	趣旨としては同じことが書いてあるのに表題がちょっと違うというところが、
0:41:00	という御指摘だと思えますけれども、
0:41:04	ちょっとこれ決まり事ではなくて十分からそうしているというところもあるんですけれども例えば、
0:41:12	商社経過とか、疲労については対応としては運転解説を確認するとか監視試験を実施するということで保全とは違った対応もするという事で
0:41:27	ある意味、高経年化への対応としてはこういうこともやりますよというふうに書いているということもございまして、耐震安全性評価に関しましてはやり方としては、その設備に対しても保全改造とかそういったところを実施することも念頭に入れてます。
0:41:47	こういうふうな、ちょっと整理をさせていただいているというところはあるんですけれども、ちょっとその辺りもちょっともう一度整理してちょっと考えさせていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。
0:42:01	規制庁の山本です。ちょっと素朴なところで質問させていただいたので
0:42:07	ドーン、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:09	それはちょっと正確でないとかっていう今のこの書きぶりが正確なんだってことではそれじゃできたところですね。ただちょっとミツイたっていうことでお気づきとして期待しましたので、
0:42:21	ちょっと私さつきあのなんか 13 のところですけども、
0:42:26	それでちょっと、
0:42:28	そういう部分のところなのかなっていう
0:42:32	なので、はい。
0:42:37	そこはちょっとこれ時価いい。
0:42:39	写真もちょっといろんなところで考えていく中でまた気づきがあれば今後のヒアリングでまた聞かせていただこうかなと思っておりますが、プロジェクト理解いたしました。
0:42:54	この部分は、4月1日の法改正で加わったところになりまして
0:43:00	これまで柏崎刈羽2号と泊2号で、
0:43:04	この二つの実績しかないんですけども、それと比べて、
0:43:09	ちょっと違う、またセトカと交差しているわけでもないのかなというふうになんかちょっと思ってるところがありますので、現状といたしました。
0:43:25	規制庁から。
0:43:27	引き続き質問いたしますので、
0:43:30	何かございます。
0:43:34	はい。
0:43:40	確かあった。
0:43:42	はい。
0:43:52	原子力規制庁平川です。
0:43:55	質問させていただきます。
0:43:58	今回ちょっと大きく可決系を書いていると思うんですけども。
0:44:03	耐震耐津波の冷温停止の評価、これは特出しして出してる前回とってあるんですか。
0:44:17	関西電力原子力事業本部の内山でございます。日における必須というわけではないんですけども項目が非常に増えたことに伴いまして経年劣化事象の評価というところと、それを踏まえている耐震耐津波。
0:44:33	あと
0:44:35	別冊で作ってます冷温停止というのを、
0:44:39	経年劣化のところの評価とはちょっと分けて経年劣化、経年劣化で6事象プラス今回出てきた1事象の一つのくりにせえりましてご説明したほうがわかりやすいかなと思っております、項目二つに分けただけでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:56	規制庁やっぱりする伝統が出資はわかるんですけども、これから人体津波に対する冷温停止っていうふうな見方もされるかもしれないんですけど、そこら辺についての考え方は、
0:45:08	何かあります。
0:45:14	はい。
0:45:18	耐震耐津波評価は、まず断続運転のほうでとして評価もしております、冷温停止評価の中にまたそれに対する
0:45:31	耐震耐津波の評価が入っている。
0:45:34	いうふうになっております。
0:45:42	はい。
0:45:48	このエンドウ立て付けの話の中で、メーターを 15 ページ。
0:45:57	に経年劣化事象の抽出っていうか、改めて結構スライド帰られてるんですけども。
0:46:09	前回、
0:46:12	定時制いただいてるエンドウ左側に提示していただいたフロー。
0:46:20	どうも。
0:46:22	町、
0:46:26	11 ページに書かれてる。
0:46:29	評価のフロー
0:46:32	が、
0:46:35	違うように見受けられるんですけども。
0:46:41	前回まで書いていたフローにつきましては、
0:46:45	破線で、
0:46:47	経年劣化事象を受けて、耐震耐津波の評価を行っている。
0:46:54	いうふうに記載されているんですけども。
0:46:57	11 ページだと。
0:46:59	耐震耐津波。
0:47:02	単独で
0:47:05	評価すると。
0:47:07	いったフローになるように見受けられるんですけども。
0:47:16	これについてどうお考えでしょうか。
0:47:40	関西電力原子力事業のウチヤマでございます。前回の 7 ます 7-7 ページに時フローありましたけども、それはちょっと今回丸ごとあの評価書のほうには書かれて層厚全書かれているんですけども、このパワーポイントからちょっと計算してもらってますのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:59	前回の 6 事象以外についても評価していることというこのコメントを踏まえて、
0:48:06	ほかのフローと重複してるようなところとして同じようなことが書かれているの 来フロー、ちょっと場所の制約もあって今回省かせてもらって、6 事象のところに 充実させてもらっております。でもそれは決してありませんでしたという点 で今回のこの評価書パワーポイントから前回の 7 ページにあった
0:48:23	全体のフローですね、こちらの部分と、今回のパワーポイントの 11 ページのフ ローが若干違うと言われているのちょっとこちらの 11 ページ、今回の 11 ペ ージのフローのほうには案件線はここではないんですけれども、
0:48:39	この 11 ページのほうの経年劣化事象の抽出というところまで含めたところが あった。
0:48:47	それを仮に申し上げると前回のページ 7 ページにある全体のフローにある点 線枠囲みから耐震評価耐津波が落ちてきている高経年前回 7 ページにしる椅子 と高経年化対策上着目すべき経年劣化事象の抽出から、
0:49:04	代表、代表機器を展開というところ全体含めたこの全体の中から、耐震耐津 波におりてきております。それを示すためだそれを具体的に本当にどこから出 てきているかというのは 11 ページのほうではちょっとわかりやすくするよう に思います。経年劣化事象の抽出の
0:49:24	下から拾ってくるような形にしています。これ何か他のマルジョウ時点の高経 年化対策上着目すべき経年変化事象じゃない。着目すべき事象ではない事象 も参画事象というモデル等事象についても耐震耐津波のほうでは拾ってきて、 それは耐震耐等の影響するかどうかというのをちゃんと見て、
0:49:44	なので、それがはっきりわかるように、11 ページのフローでは上のほうとい いますが、口径懸念箇所の抽出の下から拾ってきているかで前回の 7 ページの 資料については、そこ全体をちょっと点線枠で囲ってそこから拾ってきてるライ ンになっていると。
0:50:03	ちょっと示し方がちょっと違うだけでやってることは同じでございます。
0:50:11	はい。
0:50:32	すみません、規制庁の鈴木です。
0:50:35	今の日高から質問させていただいた件について、重ねてちょっと私から確認さ せていただきたいんですが、
0:50:43	絶対前の前回のヒアリング資料っていう
0:50:48	7 ページですね、左からやったフローっていうのは、これ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:53	先行プラントの更改確率評価の耐震評価とかでさんざん意見交換をさしてもらって、このフローで落ち着くまでいろいろ議論があったんですね、耐震というのはB評価と独立してやるものではないと教員IP評価劣化事象の抽出とか、
0:51:11	これは耐震化崩れる抽出するものではないんだと、その辺が誤解を招かないようにしましょうということで、この見解の7ページのフローの中の破線の範囲だとか、矢印の入りと出のところの位置付けとかですね、大分意見交換して、
0:51:28	燃性ではこういうフローに落ちてきてるのかなと。
0:51:32	いうふうに私は理解しています。それに対して前回の資料の三番は今回の資料の11ページですね、やはりこのプロセスはどう見ても今おっしゃったのはわかりますが、そうは受け取れない。
0:51:47	非常に違和感があります抽出から評価とが技術評価と耐震耐津波はわかるんですね。
0:51:58	ちょっとこれはですね、今、冒頭に申し上げたようなフローをつくる時にいろいろ意見交換したときの考え方をするとちょっとツジ違うというふうに違和感を持ちます。これ公開さつき着目すべき事象っていう意味では、耐震耐津波と違うと。
0:52:16	おっしゃいましたが、この11ページの
0:52:20	スライドのフローの左からの劣化事象の評価にあたって着目事象と書いてないわけですね。
0:52:26	この全体のある硝酸各省含めたっていうふうに読み取れるわけです。ですからそういう意味では、耐震化や対策等はですね、同様な記事になってるはずなんですね。
0:52:40	ここのほうにあるよう独立ではないというふうに私は思うんで、このままだと非常に違和感があります。
0:52:52	関西電力原子力事業本部の内山です。今のスズキさんのコメントで拝承いたしました。11ページ、我々もそう、そういう11ページの記載の強いこだわりはありませんのでおっしゃる通りだと思いますので、
0:53:07	前回資料の7ページに該当する。
0:53:11	ところに合うようにですね、11ページのフローを修正させてもらいたいなと思います。
0:53:20	すみません、わかりました。
0:53:26	すみません規制庁キタガワですね、
0:53:30	これを経年劣化事象の評価と耐震耐津波へ及び冷温停止維持の評価を元のような立入で
0:53:47	並べるちゅうことについて何か。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:53	不具合が消防自分ですか。
0:54:01	質問とかございますでしょうか。
0:54:09	棟数は関西電力原子力事業もウチヤマでございます。そちらにつきましても我々としては見やすいかなと思っているわけで章立て、
0:54:19	ちょっとだけございまして通貨はございませんので、弁閉のようにひとつでまとめて前は6事象で今回プラス1で七つの高経年化対策上着目すべき事象と、あと、耐震耐津波と冷温停止というのは一つの都市シートに、
0:54:38	まとめて一つの処理するという形に修正させていただきたいと思います。
0:54:44	。
0:54:46	内開かです承知いたしますが、バンツとですね、15ページの
0:54:54	用いて三つ目に、耐震耐津波安全性評価に際してはっていう所被災を改めて等と記載を追加していただいているんですけども、改めて抽出してという表現があるんですけども、これ。
0:55:12	今までの
0:55:15	高経年の評価との違いとかちょっと
0:55:20	あるんですかね。
0:55:23	ちょっとそこを伺いたいんですけども。
0:55:43	関西電力原子力事業本部の辻と申しますと、今あのご質問いただいたのは右肩28ページのところのしっかりした安全性評価の一つ目の丸のところに記載されている一等文書、今回追加させていただいた文章についてと思っておりますが、
0:56:03	ちょっとこちらについてはですね、見解の耐震安全性評価の説明資料については、この辺り説明がなくてですね耐震安全性評価の流れがわからなかったことから当先行の泊層、
0:56:19	のして審査会合資料などを参考にさせていただきまして、こういった耐震安全性評価の流れを地域させていただいたものでございます。当経年劣化事象抽出Cとございますけれども、
0:56:38	今後、まずえと技術評価で想定された経年劣化事象というものをこれを持って他社安全性評価をしてございます。耐震安全性評価をする中で、現在発生しているかまたは将来にわたって起こることが否定できないでしょうか。
0:56:56	さらに劣化事象が起こるとした場合に、それが振動応答または構造強度上AKB濃縮は無視できないでしょうかというところを別途耐震安全性の評価の中で実施しておりますので、今回これを追加で記載させていただいたと。
0:57:14	いうものでございます。
0:57:16	以上でございますが、規制庁開きですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:19	15 ページ。
0:57:24	15 ページ目の
0:57:28	三つ目のポチ
0:57:30	において、
0:57:33	経年劣化事象改めて抽出しという言葉があるんですけども。
0:57:43	すみません、関西連合イシカワでございますが、御指摘の点はわかりました。P15 ページの図 15 ページの 3 ポツ目ですね、従前の劣化評価手法と全く変えてございませんで、6 事象だけを耐震評価するわけではないというところを強調したかっただけでございます。
0:58:03	以上です。
0:58:08	はい、理解し直すと、次にですね。
0:58:15	28 ページ。
0:58:22	の
0:58:24	結果概要例の結果に評価結果は例の概要という記載があるんですけども。
0:58:32	ここの疲労割れ
0:58:34	において、
0:58:36	当時審議に対応する振動応力っていうふうにあるんですけども。
0:58:41	この場合は鉄塔何を意味してるんですが、この診療能力っていうことなのはあるんですか。
0:59:04	はい。
0:59:06	はい。
0:59:12	それに加えて、
0:59:16	下にある中性子照射脆化において、
0:59:20	原子炉容器に働く力系はこれは、
0:59:24	この要望って何か定義されてるんですか。
0:59:39	あと、守るところ、なお、制御棒クラスタ案内管及び被覆管について、
0:59:47	摩耗量を仮定した地震応答解析を実施しとあるんですけど、これは適切なんですか。
1:00:29	はい。
1:00:30	。
1:00:32	艦隊電力原子力事業本部、辻でございます。今ご指摘いただきました 1 と 3ヶ所でございますけれども、最初の疲労割れと中性子照射脆化につきましては、鉄塔ちょっと適切な専門用語に見直しをさせていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:51	三つ目の御質問いただきましたの制御棒クラスタ案内管案被覆管の摩耗の考慮した地震応答解析につきましては、こちらについてはこの摩耗を考慮した地震応答解析を実施しているということと、
1:01:12	正しい記載になっているかというふうに考えてございます。
1:01:16	以上でございます。
1:01:20	地震、
1:01:28	いやそちらがいいのであればいいんですが、
1:01:35	はい。
1:01:45	関西電力原子力事業本部の辻でございます。
1:01:48	一応ちょっと正しいとは思っているんですけども再度確認させていただきますと、制御棒挿入性の話です。
1:01:59	フッ素ですね。
1:02:01	きちんと等、
1:02:05	。
1:02:08	高浜等で記載されているものを
1:02:13	どっかからハタケヤマがないような
1:02:19	かった。
1:02:21	にしていきたいんですけども、きちんと正しいこと。
1:02:25	開けたいんですけども、よろしいでしょうか。
1:02:34	この評価結果例の概要すべてですね。
1:02:40	見直し。
1:02:41	正しいかどうかを含めて考え方をきちんと見直していただけますか。
1:02:53	関西電力原子力事業本部の辻でございます。記載内容についてご指摘いただきましたけれども再度の確認をさせていただきます。
1:03:03	それと、
1:03:05	すみません。ちょっと三つ目の積極からさ案内管のところの接客を挿入性の消火のところなんですけれども、ちょっとその地震応答解析いい側の記載が本当に正しいのかというところの御指摘なんですけども。
1:03:22	ちょっと一等意図というかこちらが考えているものと、もしちょっと認識違うと
1:03:33	誰かなと思ってるんですけども、もし可能であればと、どういうところがおかしいのかというところっていうのを追っておりいただくことできませんでしょうか。
1:03:46	この時期は関係ないですね。
1:04:17	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:20	すいません規制庁スズキ出せると関連したら、ちょっと所管になりますけれども、この地震応答解析をしているのは、サポートだと思いますが、そのときに使っているモデルの中にですね。
1:04:36	廊下側モリヤとかナカノなどをどのように、
1:04:41	反映して、
1:04:43	1回でこういったのか。
1:04:45	安定度変位を出してそれをさらに確保して摩耗してるのかとかいろいろばこれは
1:04:55	議論の
1:04:56	確認。
1:04:57	対象だと思うんですが、ですからちょっとある意味ちょっと
1:05:02	書きすぎてから逆にハマダミヤモトですね。
1:05:06	どうなんだろうなんだろうと思うところが出てくる余地があるのかなと。
1:05:11	ということで、先ほどのような
1:05:14	コメントさせていただいたと私は理解してますんで、それらを踏まえてもう一度
1:05:22	表現の仕方ですね。
1:05:25	過去のものでそこまで突っ込んで書いてないから
1:05:30	この段階ではあまり論点は出てこないんですけども、
1:05:36	どのように評価するのがいいかどうかっていうのはもう、もう一度確認していただいたほうがいいかと思います。
1:05:44	以上です。
1:05:51	関西電力原子力事業本部の辻でございます。地方組織いたしましたご指摘踏まえましてちょっと再度記載内容のほう確認させていただきたいと思います。以上でございます。
1:06:09	規制庁、鈴木です。わかりました。
1:06:17	はい。
1:06:22	規制庁使えるんですが、すごい細かいところすみません 13 ページ目の
1:06:29	はい。
1:06:36	すみません、10 ページ目さ、
1:06:39	最近つけ方ろう。
1:06:45	考えないと。
1:06:47	屋外に分かれているんですけど、2 ポツで、
1:06:52	NRCの
1:06:54	InformationNoticeぽんと書かれて、
1:06:57	いるんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:59	このって何ですか。
1:07:03	こちらつけていただいている。
1:07:07	補足説明資料、
1:07:10	もうスペースメールベースで 80 ページ。
1:07:14	では 13 ページ目のところだと思う。
1:07:18	それがついていなくて、
1:07:21	下から上の文章では情報等と書かれているので、
1:07:25	それ以外の情報が含まれていいと思うんですけど、
1:07:30	先ほどのスライド 10 ページ以降、
1:07:35	ぐらいには等がついていたって、
1:07:38	今回については等がついているので、
1:07:42	どういう情報が入ってるのかっていうのを教えてください。
1:07:47	関西電力の石川でございます。国外の工認等につきましては共通の、もう少しその表現の仕方が悪くて申し訳ないですけども、補足説明資料のほうは、
1:08:01	し、
1:08:05	減反のこの三つの文書に限定しないような書き方をさせていただいていると思います。
1:08:13	InformationNoticeを含めたものを見ている。
1:08:18	はい。
1:08:22	これな。
1:08:25	遅れたりすみません等への我々、この三つの文章はシークスとして、すべてリストアップして、しっかり当行反映すべきものがないかみておりますけれども、
1:08:41	取り組みとしまして、これに限定するわけではなくその他入手できたものは、
1:08:48	反映すべきものがないかというのを見ておりますので、そういう意味で等々、記載させていただいてまして、
1:08:56	例えばいろんな非公開文書を含めていろいろ入手しておりますのでそういうものも反映すべきものがあれば、見ております。まず意味で、年齢市内等をつけさせていただいているということでございます。
1:09:08	はい。
1:09:12	なので、
1:09:17	70 ページ目の国内情報の方については、
1:09:22	そうですね。
1:09:24	続いていないんですけど、こっちは限定してしまっているということなんですけど、そこはどうなんですよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:41	。
1:09:43	ここ。
1:09:49	完全にイシカワでございます。ご指摘の通り、国内情報も基本的にこの二つ重要な情報としてやっておりますけれども、
1:09:58	何かあれば当然見るとは思うんですがちょっと国内の場合、反映すべきものっていうのは基本的にここが上がってきますのでそこまで
1:10:10	命令等をつけて参り明示していないというのが現状ではございますけれども、
1:10:15	少し
1:10:17	記載の仕方っていうのは考えさせていただきたいと思います。以上です。
1:10:24	方法を変えていればいいと思うので、
1:10:28	所できる。
1:10:36	家族であったり、
1:10:45	国内
1:10:47	はい。
1:11:01	規制庁からございますか。
1:11:07	規制庁からは以上になりますけど関西電力の何かございますか。
1:11:28	申し訳ございません。関西電力原子力事業本部のモリヤマです。先ほどいただきましたコメント内容について確認させていただきたいんですけれどもよろしいでしょうか。
1:11:39	はい、お願いします。
1:11:41	はい、そう。
1:11:43	それではまず一つ目の概要説明資料の内容で本店変更のこの内容が保安規定変更の一つであることが不明確であるため記載を適正化することといったコメントが一つまた
1:11:57	スライド 28 ページから 30 ページ耐震耐津波の
1:12:03	気体のところで追加保全策と記載されているが他の事象では、高経年化への対応と記載されているため、統一できないかこちら検討することといったコメントが一つ。
1:12:14	また前回資料のスライド 7 で今回の資料のスライド 11 のフローで、耐震耐津波評価のやり方がこの異なっているように見えてスライド 11、今回ず今回資料の整理の 11 では、耐震耐津波が経年劣化事象の評価と独立しているように見えるため、
1:12:34	修正することといったコメントが一つ、またスライド 27 以降、耐震耐津波冷温停止を所を今回分割しておりますけれども、この一つ前の章着目すべき経年劣化事象の消灯結合することといったコメントが一つ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:51	最後にスライド 28 評価結果の概要例概要括弧 0 の記載内容について用語が正しいか体を確認することといったコメント以上 5 点はいただいていると思います、思っておりますが間違いないでしょうか。
1:13:12	はい。
1:13:18	はい。
1:13:29	初めに、
1:13:33	セトミヤモトです。はい。
1:13:37	わかりました。はい。
1:13:42	関西電力原子力事業本部のモリヤマです。ありがとうございます。
1:13:56	させようと事前にご質問 1 ツジとミヤモト別で少し御質問いただいていた
1:14:04	審査会合以降の
1:14:07	コメントの
1:14:08	集約的な計器について、
1:14:11	ご質問先般ヒアリングでいただいていたので、それをして、
1:14:18	現状のところへお伝えした失敗した上でお伝えして、それらのフロー図にしたいと思っておりますので、皆さんの家庭児童センターの
1:14:29	2 月末までにご連絡いただければというところの話があったんですけども。
1:14:38	2 月末までしてしまうとですね、コメントなり指摘内容によってはナカノ方の作業も時間と止まりますでしょうし、
1:14:48	そういう意味ではまず第 1 弾の質問、コメントというものを系統がこちらの一体一番ハマダ約 2 カ年で第 1 弾ある程度まとめた上ですね、今月下旬、今月中。
1:15:04	目途に別途提示言いますとしてみようかなっていう形で今進めていますのでご承知おきください。
1:15:12	やっぱりところまた決まり次第連絡いたします。
1:15:16	よろしいでしょうか。
1:15:18	。
1:15:20	関西電力原子力事業本部ハニユウです。
1:15:24	1 月中にもコメントのリストえといただけるということで承知いたしました。よろしくお願いたします。
1:15:32	規制庁ミヤモトです。
1:15:35	では一旦
1:15:37	今日の高経年化ヒアリングする終わらせていただきます。どうもありがとうございました。
1:15:44	関西電力原子力事業本部です。ありがとうございました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。